

問う

代表・一般質問を平成29年9月21日、22日、25日に開会した第3回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問
議案の審議に先立ち、各会派を代表する議員と無会派の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。以下その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

区民が主役である

元気な足立区へ!!

自由民主党 新井 ひでお 議員



日本の自立に向けて憲法論議を

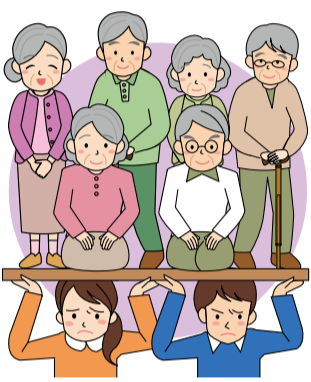
【問】 北朝鮮の脅威に晒されていながら、日本の自立に向けて憲法論議が必要ではないかと思う。憲法改正に向けて国民的議論が必要だと考えるがどうか。
【区長】 改正が必要なのかどうかといったところについて、わかりやすく国会で議論いただくと同時に、その中身を一人でも多くの国民に広がるような議論の場の設定も、国や政府には努力いただきたいと思う。

【問】 固定資産税等の増収により当初予算を大幅に上回る財源が確保され、結果的に少なからず決算剰余が生じている。経済状況と財源見直しをしっかりと行うことで議会、区民要望に最大限応える当初予算編成が実現出来ると思うがどうか。
【政策経営】 平成29年度当初算定ベースにおいて、市町村民税法人分は減収見込みであり、法人住民税の国税化による影響が徐々に表れてきているものと考えられる。今後、こういった税制改正の動向や経済状況を注視しつつ、議会、区民要望に答えられるよう、効果的かつ適正な当初予算編成を行っていく。

社会保障費の増加の抑制を

【問】 区単独で行うには限界はあるが、社会保障費の自然増をどのように抑制、コントロールしていく考えか。
また、待機児童対策等の財源確保について、今後どのような姿勢で臨むつもりか。サービスを活用する区民とそうでない区民との公平性を確保する観点から負担の見直しも行うべきと思うがどうか。

【政策経営】 有効な施策により社会保障費の抑制及びコントロールに努めていく。待機児童対策等については、必要に応じて基金への積み増しを行い、財源対策を図っていく。サービスの提供にあたっては、公平性を確保しつつ、区民に理解してもらえるような制度設計をしていく。



犯罪発生抑止に注力せよ

【問】 刑法犯認知件数は発表されているが、検挙状況は区民に伝わらない。Aメールでも犯罪発生情報は発信しているが、その後の情報発信は無い。捜査

や裁判、個人情報等との整合性は確保しつつも公表することにより犯罪抑制と区民の不安解消に役立つべきではないのか。
【危機管理】 警察署に対し検挙情報の提供依頼を行っており、

地方議会と国は一体。区民の安全と憲法改正を進める。

自由民主党 せぬま 剛 議員



区民・国民の安全・安心を

【問】 憲法解釈及び区民を守る自衛隊への区長の認識はどうか。
【区長】 この憲法では守り切れない緊急事態に直面している認識も一方である。国民が議論に参加して、納得いただける形の中での改正を、ぜひ政府としても目指していただきたいと思う。自衛隊は現行憲法の下、国防はもとより災害救助活動等、国民の生命と安全を守るため尽力されているものと認識している。

教育現場の実態は

【問】 慰安婦問題、拉致問題、自衛隊に関する教育について、現状はどうか。
【教育指導】 区内中学校で使用している教科書には、慰安婦問題は現在取り上げられていない。

行政の反省と地元の協力で進めるまちづくり

自由民主党 吉岡 茂 議員



エリアデザインの着実な推進を

【問】 ①綾瀬、六町をはじめ、計画が順調に進捗しているとは到底思えないが、見解を伺う。
②六町駅前区有地の有効活用を



わづかながらAメールによる情報発信を行った経緯がある。今後さらに警察側に対し、小さな事案であっても区民の安心につながることを伝え、検挙情報の提供を求め、発信していく。

拉致問題は、国際社会の課題と

私たちの取り組みとして指導している。自衛隊に関する教育は、日本国憲法の平和主義について理解を深め、我が国の安全と防衛及び国際貢献について考えさせるとともに、核兵器等の脅威に着目させ、戦争を防止し、世界平和を確立させるための熱意と協力の態度を育てるとの学習指導要領の記載に即し、各学校において学習が進められている。

ついて、スケジュール、施設規模等の最新情報は

【資産管理】 ①計画が遅れた要因を検証し、各エリアが抱える課題や関連する事業の調整を図

りながら、逐次事業計画の見直しを行っていく。

②事業者公募は、概ね2年程度は必要になると考える。施設規模は、2階建て程度の建築物とする短期的な活用の可能性も比較検討し、地元との合意形成を図っていく。

六町のまちづくりの課題は

【問】 ①六町加平橋から補助第140号線までの平面部の整備について、都との役割分担の内容はどのようなものになっているのか。
②今後、環七北通りにおいても、災害時に備えて無電柱化を実施すべきと考えるがどうか。

区民の生命と財産を守る、防災対策について

自由民主党 渡辺 ひであき 議員



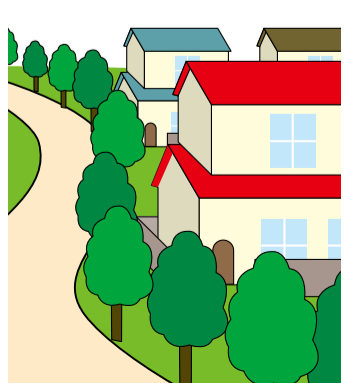
区民を守る防災・減災対策を

【問】 ①地域防災計画における区民、事業者との連携は。
②防災ナビは、あらゆる機会を通じて周知すべきか。
③北千住駅前滞留者対策はどのような行われているのか。

【危機管理】 ①近隣地域の方々が様々な関係機関の動きと整合をとり、効果的かつ計画的に緊急活動ができるよう進めていく。
②区内約30カ所の電柱に広告を掲示している。今後、あらゆる機会を通じて周知していく。
③北千住駅前滞留者対策推進協議会において北千住ルールの改善を図っている。

避難者にとつての環境整備を

【問】 ①避難所立ち上げの区職員の具体的役割の根拠は。
②避難所での情報共有と発信を



【道路整備】 ①六町加平橋取り付け部の立体部分は区で施行するが、取り付け部側道と補助第140号線までの平面部は都が施行する。
②無電柱化が必要であるとの認識の下、都の区画整理事業で実施していく予定である。

一元化することへの対策は。
③東日本大震災時の千寿本町小学校での活動の教訓を振り返るべきと考えるがどうか。

【危機管理】 ①区災害対策本部条例施行規則第7条において、部の分掌事務を明記している。
②避難者個人の携帯端末だけに頼らない情報共有及び発信を行うっていく。
③大変貴重な教訓であり、その記憶、記録を散逸する前に収集し、活かしていく。

